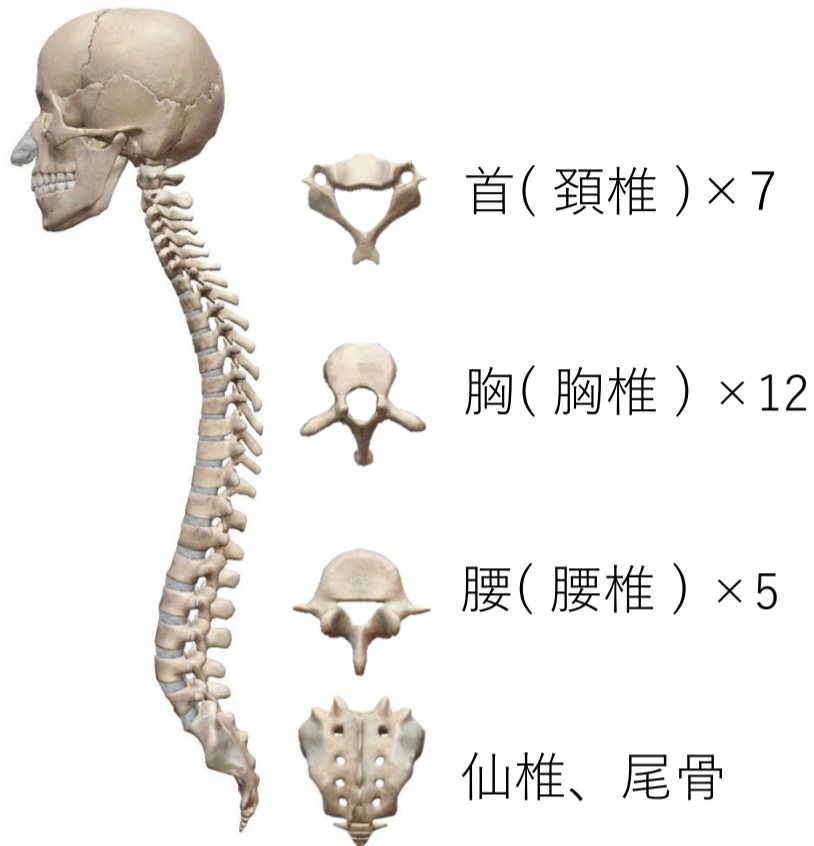


腰部シリーズ① 背骨の構造（骨・神経編）

👉 1:背骨（脊椎）の構成



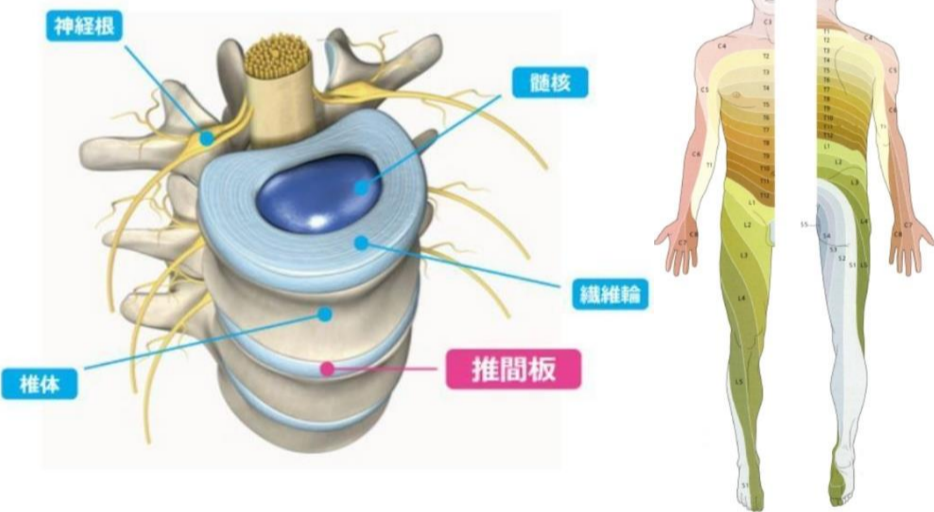
頸椎・胸椎・腰椎でそれぞれ形が異なり、彎曲を成してます（**生理的彎曲**）。生理的彎曲があることで、歩行などの身体活動で生じる衝撃緩衝の作用を担っています。

椎間板について

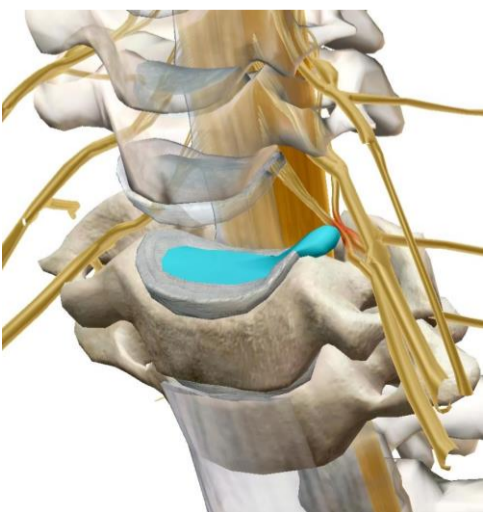
椎体（椎骨の前方部）と椎体の間には、**椎間板**というクッションの役割を持つものが在り、身体活動を行う際に生じる衝撃を吸収してくれます。

神経（脊髄）の走行

椎骨にはリング状になっている部分（**椎孔**）に、脳から繋がる太い神経（**脊髄**）が通ります。脊髄から手や足など末梢にかけて神経が枝分かれしていきます。大まかに、頸椎の神経は上肢、胸椎は体幹、腰椎は下肢の感覚や筋収縮を司ります。



👉 2:起こりやすい病態



椎間板ヘルニア:
椎間板が後方に飛び出し神経を圧迫するもの。疼痛や痺れなどの症状を引き起こします。



脊柱管狭窄症:
椎孔や神経をとりまく靭帯、椎間板の変形などで、神経を圧迫するものです。